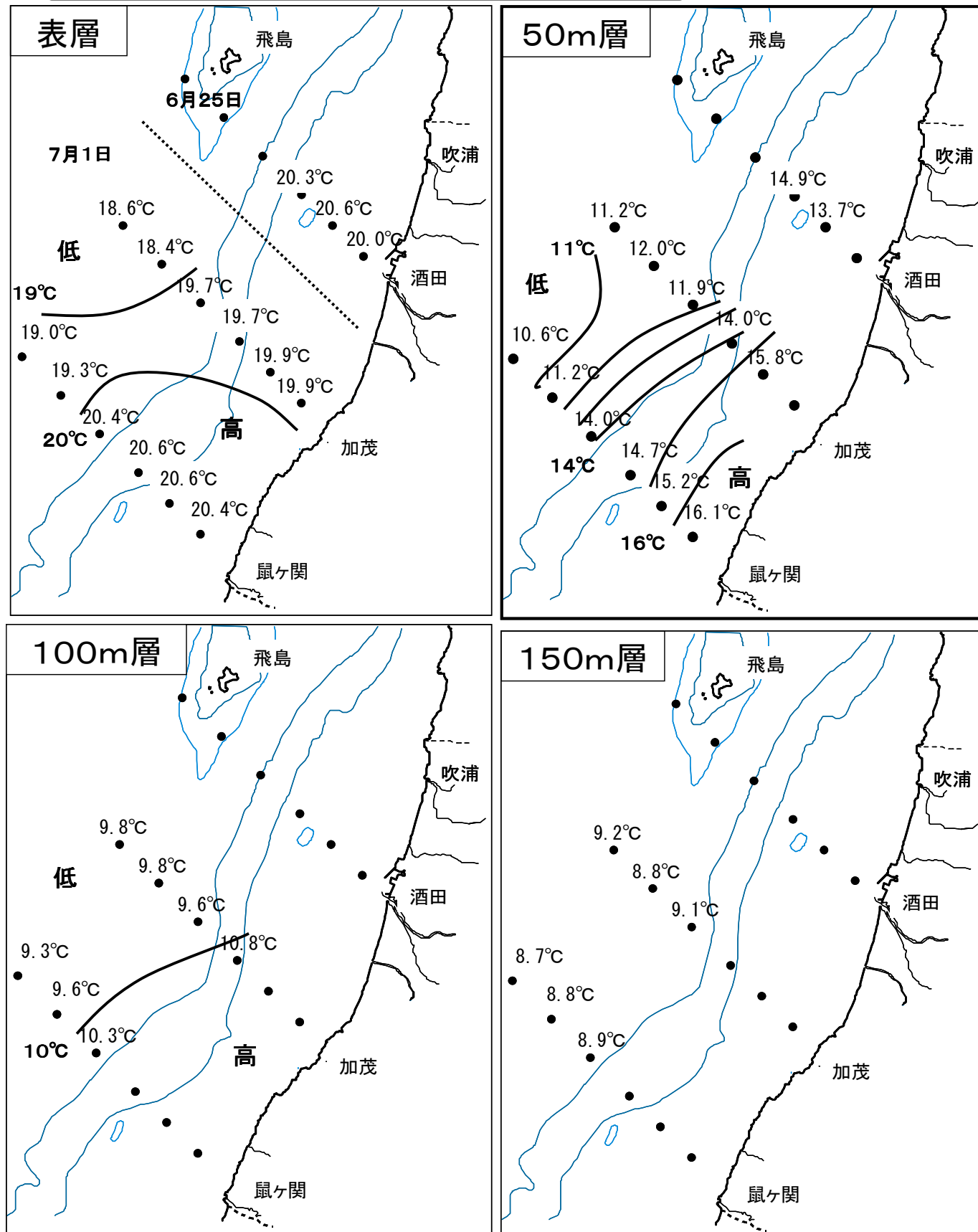


漁海況情報

第481号(平成24年7月11日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

観測日:6月25日、7月1日(最上丸及び月峯)



各層別の平均水温

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	19.8	13.3	9.9	8.9	7.3	1.7
前年差	-1.6	-0.7	-1.1	-0.9	-0.1	-1.4
平年差	-1.3	-0.4	-1.2	-0.7	+0.1	-0.2
評価	かなり低い	平年並み	やや低い	やや低い	平年並み	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(やや低い)	(やや低い)	(平年並み)	(かなり高い)	(やや高い)

評価の表現:”平年並み”は約2年に1回,”やや”は約4年に1回,”かなり”は約10年に1回,”はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

地先平均水温(6月)

単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	19.1	-0.2	-0.2	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	17.8	+0.8	-0.2	平年並み

各種漁業情報

1. 平成24年度第2回日本海海況予報

7月5日に(独)日本海区水産研究所発表の7~9月までの日本海海況予報は以下のとおりです。

- ・表面水温は,”やや高め”~”かなり高め”で経過する。
- ・50m層水温は,”やや高め”で経過する。
- ・佐渡島沖と入道埼沖の冷水域の張り出しは”平年並み”で経過する。

2. 沿岸スルメイカ漁の状況

5~6月の本県の漁獲状況は以下のとおりです。

- ・出漁隻数:699隻 (前年比100%、平年比90%)
- ・水揚量:592トン (前年比123%、平年比98%)
- ・CPUE:847kg/隻・日 (前年比124%、平年比107%)
- ・水揚金額:1億5,200万円 (前年比103%、平年比98%)
- ・魚体は例年並み、6月下旬になり急激に大型化。

なお、7月9日現在の日本海の漁場は能登半島周辺から佐渡島北方、男鹿半島周辺、函館沖、積丹半島沖と広範囲となっています。

3. 大型クラゲ情報

6月29日に独立行政法人水産総合研究センター発表による情報は以下のとおりです。

①西海水研・陽光丸による大型クラゲ分布調査において、6月23日に東シナ海中央部2地点(北緯30度30分、東経124度15分;北緯30度30分、東経124度30分)で、大型クラゲの出現を確認しました。また、国際フェリーを使った目視調査により、6月23日~26日に黄海(済州島北部沖~中国青島沖)および上海沖で大型クラゲの出現を確認しました。現時点での出現量は、昨年度および一昨年度より多いものの、我が国沿岸で大型クラゲが大量出現した平成21(2009)年度に比べると少ない状況です。

②6月24日~26日の黄海における国際フェリー目視調査の結果を初期条件として大型クラゲの出現予測を行った結果、7月上旬頃に長崎県対馬周辺に大型クラゲが出現する可能性が示されました。

6月の漁況

- ・延べ操業隻数は、3,698隻で前年比77%でした。
- ・総漁獲量は、853トンで前年比75%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は133トンで、前年比51%でした。タイ類、ヒラメ、カレイ類、タコ類は前年を上回りましたが、アンコウ、ウマヅラ、ハタハタ、ホッケ、アカエビは下回りました。
- ・定置網漁業の漁獲量は87トンで前年比74%でした。トビウオ、ワラサは前年を上回りましたが、ヒラメ、ウマヅラ、イナダ、アジ、サワラは下回りました。
- ・採貝藻漁業の漁獲量は55トンで前年比74%でした。アワビは前年を上回りましたが、サザエ、イワガキ、ナマコ、モズクは下回りました。
- ・その他の漁業では、この時期の主要種のいか一本釣漁業のスルメイカは前年及び前年並みでしたが、さし網漁業のヒラメ、メバル、はえなわ漁業のタイ類、ごち網漁業のタイ類、一本釣漁業のメバル、ばいかご漁業のバイ類は前年を下回りました。また、船凍いか釣り漁業は、水揚げがありませんでした。

全漁業支所別漁獲量

* 前年比は平成19～23年までの平均値と比較した値です。

単位：隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	287	347	1,133	201	426	382	258	664	3,698	89%	77%
総漁獲量	31,452	39,563	462,198	76,396	93,550	45,670	7,063	97,585	853,486	83%	75%
前年比	98%	103%	113%	72%	47%	57%	79%	60%	83%		
前年比	56%	91%	100%	102%	53%	64%	54%	43%	75%		

底びき網漁業

単位：隻、kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	15	98	10	95	61	162	441	88%	77%
タイ類	147	12,100	48	430	1,217	854	14,795	85%	183%
ヒラメ	821	1,162	75	2,232	737	654	5,681	234%	139%
カレイ類	3,376	6,039	1,377	17,387	6,386	5,144	39,710	126%	136%
アンコウ	175	410	35	2,252	587	969	4,427	65%	73%
ウマヅラ		2,733	3	61	410	667	3,873	100%	89%
ハタハタ	10	5		1,138	821	6,501	8,474	50%	42%
ホッケ	20	410		1,248	666	2,482	4,826	11%	4%
ズワイガニ									
タコ類	3	40		966	467	777	2,252	155%	116%
アカエビ		5,237				10,525	15,762	88%	85%
その他	1,160	5,113	237	8,824	2,790	15,459	33,583		
計	5,711	33,248	1,774	34,537	14,079	44,033	133,382	70%	51%
前年比	54%	54%	46%	101%	76%	70%	70%		
前年比	32%	34%	71%	96%	69%	51%	51%		

その他の漁業

単位：隻、kg

漁業種類	いか一本釣漁業	さし網漁業		はえなわ漁業	ごち網漁業	一本釣漁業	ばいかご漁業
延べ操業隻数	557	648		455	11	222	23
対象魚種	スルメイカ	ヒラメ	メバル	タイ類	タイ類	メバル	バイ類
漁獲量(kg)	454,784	2,261	1,029	15,640	896	695	12,111
前年比	100%	72%	104%	63%	162%	78%	83%
前年比	95%	50%	83%	42%	43%	79%	76%

定置網漁業

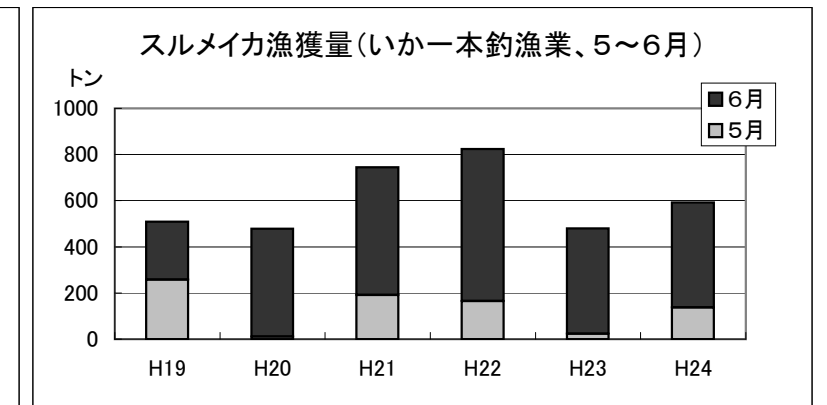
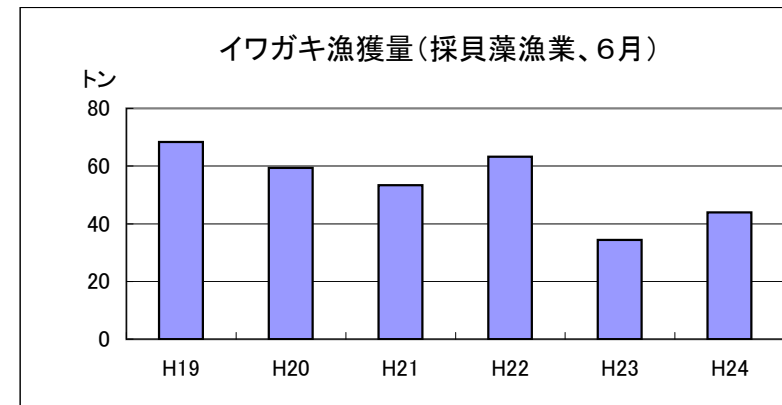
単位：隻、kg

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	17	41	20	23	101	96%	91%
ヒラメ	24	578	322	728	1,651	44%	50%
ウマヅラ	20	472	657	2,930	4,079	31%	51%
トビウオ	3,524	11,985	2,976	1,523	20,009	1672%	504%
フグ	1,089	5,589	4,167	10,497	21,342	48%	94%
ワラサ	177	2,684	2,507	2,924	8,292	475%	389%
イナダ	428	2,649	6,698	3,257	13,031	27%	36%
アジ	142	1,617	1,035	7,041	9,835	21%	40%
サワラ		10	2		12	5%	1%
その他	1,564	2,805	2,416	2,300	9,085		
計	6,968	28,389	20,780	31,200	87,336	51%	74%
前年比	38%	48%	41%	73%	51%		
前年比	56%	67%	63%	104%	74%		

採貝藻漁業

単位：隻、kg

支所	吹浦	由良	豊浦	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	179	153	182	130	205	208	1,057	110%	79%
アワビ	284	94	70	154	265	35	902	260%	237%
サザエ		290	74	198	586	792	1,940	49%	56%
イワガキ	21,271	1,600	3,375	2,376	4,487	10,816	43,925	128%	79%
ナマコ	313	807	62	15	416	1,153	2,766	45%	67%
モズク		1,727	1,801	566	100	387	4,581	231%	60%
その他		157	28	5	120	360	670		
計	21,868	4,675	5,410	3,314	5,974	13,543	54,784	115%	74%
前年比	205%	114%	177%	69%	115%	100%	115%		
前年比	122%	73%	87%	58%	112%	75%	74%		



最上丸の調査予定 (7月中旬～8月中旬)

ワニザメ対策試験、重要魚種の加入量調査、海洋観測、底びき網漁業漁期前調査、

- ・漁業者からの要望により、ワニザメ対策試験を行います。
- ・マダイ、アンコウ、カレイ類等、重要な底魚類の資源動向を明らかにするため、稚魚や幼魚の生息状況を調査します。
- ・海洋観測を行います。
- ・休漁期間中の底びき網漁場状況を調査し、情報提供します。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いいたします。